

さらば、愛しのあの人

岡本 悠

甲野は、白鳥さんを愛していた...

もう、遠い過去の女性だ

会えない...

目のグロス、その印象だけが、入ってくる

細身の身体

抱きしめたい

今でも...

昨日、出さなかったラブレターが出てきた

命拾いしたな

出さなくてよかった

こんなのを出したら変質者だよ

でもさ、意外にもう、どうでもいいって、言えない

なぜだろう？

白鳥さんも、神の創造物なのに

もう、明らかに神の作り物なのに

美化したい自分がいる

そう思うと、また、どうでもいいのだが

心の玉手箱に入って

印象づけられてしまう

このカインを持って、生きなければいけない

忘れることはできない

1つのあの記憶だけが、

ズッカリ、印象づけられている

消えない...

消えない...

トラウマとは違うのか？

浜崎あゆみ、説明してくれ

WATANABE 3-13-9

白鳥さんは、弁当屋で働いていた

今日の、弁当屋が

どこかで、繋がってればいい

カレーライスを運ぶ

君を想い出す

好きだ、好きだ、たまらなく好きだ

愛している

君と結婚だけして

終わりたい

そんな感じだ

だから、俺は傲慢な人間だ

わがままな人間だ

アイライン、目のグロス、ああ、死にたくなる...

この小説が君に届いているといいな

君は僕にとって、永遠の人です

神は、過去には、タッチできないの？

でも、消さなくていい記憶だ

少し濁っているけど、

美しい記憶だ

バーン、バーン、バーン…

リズムに乗って、行進隊がこう言った

「愛して、おあげなさい」

「そうすれば、宝物になるから」

今度は、腑に落ちた

なるほど、神が与えてくれた、宝物だったんだね…

でも、神いっ！　なんで過去にタッチできないの？

甲野は、狼狽した

背負っていかなきゃ

テレビでは、巨人 — DeNA の試合が、今や遅し、と待っていた

こういう恋もいいのかもな

甲野は、うなだれた

ポテトチップスののりしおが、呼んでいた

消せないんだ、消せないんだ、一生背負っていかなきゃいけない

ましてや、神が言うには、俺は死なない

この十字架はキツイぞ

1年経っても消えないんだから

誰かに言えばいいのかな？

しないけど、これを商品として出せば

薄れるかもしれない

甲野は、お通さんのことを思い出した

ああ、夏が来る

あの細い身体

T-シャツ

ズボン

マドンナ

俺を、殺してくれ

俺が、何か悪いことしたか？

見つめた罪は認めるよ

好きだったことも

今も好きだ

もう2度と、あの頃には、戻れない

恋ばっかしやがって、情けない男だ

愛してると、ほざいてくれい！

引き金を弾いてくれい！

かまわない、殺してくれい！

さあ、どうしたら、忘れられるだろう？

神よ、答えてくれ

でも、1人くらい心の恋人がいてもいいよな

永遠に... 永遠に...

永久に... 永久に...

ちゃんと、遠回りしてでも信号わたってバス停に並んでいたね

俺、ロッカールームで「暑いですね」って、言ったよね

君は、スマホをしていたよね

俺、遠くから、窓ガラス越しに、眺めたよね

甘いガード

俺が意識してるのわかってたよね？

気持ち悪かったかい？

恐かったかい？

でもね、いいんだ、愛していたんだから

誰にも罪はない

君にも

俺にも



逃げるのか、ほざくのか、その想像すら、俺は掴めない

君のこと愛している、夕方にふと思い出す...

さらば青春なんて、美学に恥じないでくれ

馬鹿馬鹿しい

ゆず、という、くず、が！

まあ、いずれにしても、俺は生きていかないといけない

今日、弁当屋で買う頃、君を忘れていたろう、

そんなもんだ

完璧ではない

ミスター・パーフェクトではない

いいんだ、いいんだ

倉木麻衣を想う時、キミを思い出してもいいかい？

あんなにも好きで、バスの中で泣いたね

村上宗隆が言ったね、「この泣き虫が！」と

ところで、誰からのメールだろう

こんな幸せな気持ちを、どうすればいい

なぜ、幸せ？

愛したからだ

このメールも神のいたずらだ

これも引きずるだろう

過去には、勝てない

じゃあ、どうやって生きていく？

そうだな、フライパンでも上げて、料理して、キミの弁当屋に持っていくのはいかが？

生きるのか？ ほざくのか？ その想像すら、俺は掴めない

あの人は、愛せない、そんな言葉を繰り返してる

今日の弁当屋に、キミがいることを、信じている...

「完」